

「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced Course（第3回研修会）」開催要項

1. 趣 旨 若手・中堅教員等が、学校や地域の教育諸課題の解決に向けた実践と省察、課題研修やピア・サポート等を行うことにより、ミドル・スクールリーダーとしての資質能力の向上を図るとともに、教職実践課題の解決力、省察力の醸成を図る。
2. 主 催 独立行政法人教職員支援機構、同 山口大学センター
山口大学大学院教育学研究科教職実践高度化専攻（教職大学院）
3. 共 催 山口県教育委員会
4. 開催日時 令和5年10月14日（土）9：30～12：00
5. 開催場所 公立学校共済組合山口宿泊所「セントコア山口」（2階 サファイアホール）
〒753-0056 山口市湯田温泉 3-2-7 Tel:083-922-0811
6. 参加者 教職経験（正規教員経験）3～20年目頃の教員、教職大学院生、大学教員等
7. 研修内容
 - (1)開講行事
あいさつ 教職員支援機構山口大学センター センター長 和 泉 研 二
諸連絡 研修プログラム概要説明、諸連絡
 - (2)講演
演 題 「フィンランドから眺めた令和の日本型学校教育」
講 師 信州大学学術研究院・教育学系 教授 伏 木 久 始 さん
(元フィンランド国立教育研究所研究員)
 - (3)ちゃぶ台協議
テーマ 「伏木先生のお話を振り返って」
指導者 山口大学センター、山口大学教育学部・教育学研究科教職員
 - (4)研修のまとめ
あいさつ 山口大学大学院教育学研究科 研究科長 鷹 岡 亮
8. 「感染症法（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）」にもとづく取扱（お願い）
 - (1)本研修の実施においては、主催者として、「感染防止の5つの基本(厚生労働省 ADB,2023.3.8)」を参考として感染予防に努めるとともに、受講者一人一人に感染防止に向けた責任ある行動を要請する。
 - (2)研修地域や受講者居住地の感染状況や推移、研修関係者の意向等をふまえて、研修形態を「対面・参集型研修」から「オンライン研修」等に変更する場合がある。
9. その他
 - (1)本研修事業は、独立行政法人教職員支援機構地域センター（山口大学センター）事業経費により運営される。

Everywhere
you want to be!

2023

ちゃぶ台次世代ステップアップ研修講座 学級通信 NO.2
山口大学・山口県教委「NITS カフェ (第1回)」号
2023. 9. 7
NITS 山口大学センター・山口大学教職大学院



今年も「NITS カフェ」の季節がやってきた! 55人が「8.26のカフェ」に集って! そして問いあった! あなたは何がしたいのか、どう生きるのか、何をどう「和える」のか!

今年も「NITS カフェ」の季節がやってきました。本年度は2回の「NITS カフェ」を予定していますが、その第1回(「新たな教師の学び」を創る「ちゃぶ台 Cohort」)を、8月26日の午前・午後、山口市の「セントコア山口」で開催しました。

やっぱり.....「カフェ」はいいですね。

心地よいBGMが流れ、気の合う仲間と「お茶」している感覚、それでいて大切な話、相談ごとやワクワクする予定立てをしている感覚。総勢55人(現職教員22人、教委関係者6人、大学教職員16人、大学院生9人、講師2人)が集った「カフェ」を報告します。



開会行事

主催者を代表し、山口大学大学院教育学研究科(教職大学院)の佐々木司専攻長が、NITSと山口大学のつながり、「NITS カフェ」への取り組みの歩みと成果、カフェスタイルの可能性と今回行事の意義を盛り込んだ開会挨拶を行いました。



講演 この国の価値を次世代につなぐ ~起業家精神をもって生きること~ 矢島里佳さん

今回の講師は、日本の伝統や先人の智慧を暮らしの中で活かしながら次世代につなぐ事業を展開している株式会社「和える」代表取締役の矢島里佳さん。APEC「Best Award 2017」やDBJ「女性起業大賞」等受賞者として、産業・経済界や芸術文化・観光振興の世界で「知る人ぞ知る」有名人。参加者の生にも多くのファンが(^^)

矢島さんの歩みや経験から溢れ出る「今をどう生きるか」への熱い想い、価値や根拠を見極め、拠り所にしながら創造的に社会に関わっていかれる姿に、参加者の視野は広がり、多角的多面的なものの見方考え方や創造的で開発的な思考は大いに揺さぶられた2時間でした。矢島里佳さんと出会えた感動の一日。本当にありがとうございました。



参加者のコメントから

- 「自分がしたいことに素直に生きる」という言葉が心に残りました。子どもと接する大人として、自分の生き方、言動、働き方に悩むことが増えてきていたので、とても刺激的な2時間でした。自分は何がしたいのか、どう生きていきたいのか、立ち止まって考えられていなかったと思います。余白を大切に、本当にしたいこと、ありたい自分であるためにどうすれば良いか考えながら、2学期を過ごしていきたいと思いました。

また、軸をぶらさず、その軸を太くしていくことや、一つのことを深掘りして真髓まで理解することも常に大切にしたいと思いました。そんな人の姿が、きっと周囲に影響を与え、良い集団にしていくのだろうと感じました。もっともっとお話を聞いていたかったです。

- 矢島さんのマインドは非常に勉強になりました。正にこれからの子どもたちにとって大切な考え方の一つだと思いま





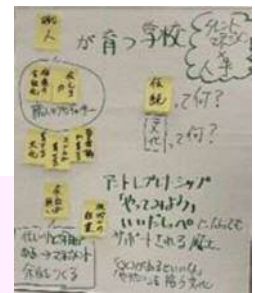
す。また、学校が子どもたちにとって挑戦しやすい、子どもたちも教師も、互いに失敗を学びと捉えられる場にするためにも、教師自体のマインドセットの転換が非常に大事だと感じました。



・ いつも講師の方の専門分野を教育にどう活かすかという視点でお話を聴くようにしています。矢島さんからは、学校を擬人化してみると長所短所、成長ビジョンなどが見えやすくなることを学びました。カリキュラムオーバーロードによる表層を掬うだけの教育ではなく、興味をとことん掘り下げる経験がこれからの子どもたちには必要だと感じました。本質に至らなければ、本当に和えることにはならないのだと思います。失敗さえもポジティブな学びに変えるレジリエンスを教師も子どもも獲得していくことが重要です。



・ 矢島さんの歩みをうかがうことで、新しい価値を生み出す人のイメージが具体化されていきました。今、県内各地で総合的な学習の時間、総合的な探求の時間の充実を図っているところですが、これらの学習の充実によって、矢島さんのような思考やチャレンジ精神をもてる「人」育てたいと改めて思いました。やる気スイッチは個人単位で押されるタイミングも押し方も異なります。義務教育である小学校の段階では、1つのことにこだわらず、多様な価値や人とそこいる「すべての子」が会う機会をつくりたいと思いました。企業の立場から教育の重要性をお教えいただいたことで、平等にきっかけを与えることができる義務教育の可能性と責任を考えることができました。



・ まさか、あの矢島さんのお話を山口で聞くことができるとは！と要項を見た時にびっくりして直ぐに参加申込をしました。TVの特集を見て以来の「信者」です（笑）。教員であれ、他の業種であれ、現場やニーズを掴み、柔軟な発想や開かれた思考で、社会的、業界的に意義のある新しい価値を創る、生み出す姿勢、マインドが必要と思いました。ありがとうございました。



カフェ（グループワーク） 矢島里佳さんの生き方生き様から自身や教育のこれからの創ろう

午後は、校種混在の8班編成で、「学んだこと、刺激を受けたことを共有しよう!」と「考えてみよう! 新たなチャレンジ、改革アイデア!」の2テーマについてのワークショップです。



今回は「ワールド・カフェ」方式なので、「キーワードピラミッド」や「社会人基礎カレダ」を使った「個人探求」に続いて、「国内協議（班内協議とポスターづくり）」→「海外旅行（他班での研修と意見交換）1・2」→「国内協議（海外旅行の報告と整理）」→「全体シェアリング」と続きましたが、本当に「お茶しながら」の和やか、賑やかな「カフェ」。さまざまな「学び」があった2時間半でした。



参加者のコメントから

・ 学校が変わっていかねばならない時代に突入しているなど色々な話を聞いて感じました。働き方改革が現在進行系で進む中で、一方で、それまで学校で育まれてきた伝統をすべて捨てるのが良いとも限らないという考えはその通りだと思いました。今の学校のよさと課題について、それぞれの教員が真摯に向き合い、新しい時代の流れと「和える」ことが必要なのかもしれないと思いました。



しかし、そんなことをする余白がないのも事実であり、一つ一つ課題を克服していかなければならないと思いました。自分でできることを考えて、実行していきたいと思います。

- ・ 連携を和えるに置き換えると全てがわかってきたのと同時に難しいことをしていることがわかってきました。それぞれの本質やよさを深掘りしていくということは、それぞれを観察し、考えていくことであり、その本質やよさを踏まえて和えることが重要であることがわかりました。学校の本質やよさを深掘りしていきたいと思います。



- ・ 矢島さんの話からどんな学校にしたいかを話すときに、自国では同じ意見が出たのに他国は違っていて、当たり前ですが違いが面白かったです。同時に、自国では誰かが合わせていくと、みんなが同じになっていくという怖さも感じました。グループ学習の良さと課題もわかりました。地域連携が働き方改革になることも実感できました。何かを始めると何かを諦める。と思っていたのですが、本質同士を磨く、「和える」という視点で見直してみたいと思いました。

- ・ 校種、年齢、立場の異なる方々と交流することができるカフェ形式はとても充実していました。矢島さんの講演を自分に引き寄せて聞いているため、自分がこれまで思っていたことを中心に、納得したり思考を深めたりしていたのですが、他の方の視点を伺うことで、別の見方を取り入れることができたり、もともとあった自分自身の考え方にも深まりを感じたりすることができました。



- ・ カフェの一番の学びは、「やっぱり同じ講演を聞いても、刺さるポイントが違うんだな」ということです。私はついつい総合的な学習の時間寄りな反応をしていました。ほかの皆さんはチームや学校の先生方のやりたいを如何に作るかといった問いでした。こういったずれは面白さでした。

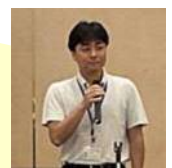
- ・ 同じグループの方々の思いを伺うことができたこと、ワールドカフェ形式で他のグループの方々のお考えを聞くことができたことで自分の考えも深まりました。「和える」という言葉、考え方を教育において比喩的に活用、協議することで、新たに見えてきたことがあったように感じました。



- ・ 他者と語り合うことで、自身に無い考えを聞くことができたり、自身の考えや意見を話すことでまとめることができたりするので、非常に意義ある形式だと思います。「ちゃぶ台自体が失敗を語り合い、学び合える場所」ともうかがいました。教師自体が失敗を、学びに変えられる経験ができる場所は、非常に重要だと思います。

講評 + 閉会行事

その後、一緒にこの「NITS カフェ」を作り上げてきた連携パートナー、山口県教育委員会事務局（教育庁教職員課）の丸山茂生管理主事が、講演やカフェの様子、研修内容と自身の経験を重ねあわせる形で、これからの価値創造、教育や教職のあり方、教職員の成長と職場環境や教職員研修のあり方等について総括的講評を行いました。



最後に、NITS 山口大学センターの和泉研二センター長が謝辞および閉会挨拶を行い、終日日程の会を終了しました。 皆さん、「NITS カフェ」への協力、本当にありがとうございました。

連絡

1. 本年度「NITS カフェ」の第2回は12月23日（土）です。

「保護者と創造する学校の未来づくりセミナー」として実施します。

午前の部は 10:00～12:00、山口県 PTA 連合会とも協力して、

「保護者との座談会」を行います。楽しく交流しましょう。午後の部は、13:00～16:30 で、横浜創英中・高等学校の工藤勇一校長先生の講演と「カフェ（ワークショップ）」を予定しています。学校の年末業務で忙しい時期ですが、予定に入れておいてくださいね。

2. 「ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course」の次回は10月14日（午前・午後、山口市セントコア山口）、次々回は11月3日（午前・午後、周南市徳山動物園、周南市立駅前図書館）です。





コーホート (cohort)

同一の性質を有する同年齢集団

→ 教職という立場や志でつながる同年代の仲間たち



山口県教員育成指標【教諭】

■どのステージにおいても変わらず必要とされる「教職に必要な素養に関すること」

◎豊かな人間性 ◎使命感 ◎責任感 ◎教育的愛情 ◎人権意識 ◎倫理観 ◎社会性 等

大項目	中項目	小項目	ステージ0 【理解】	ステージ1 【実践】	ステージ2 【協働】	ステージ3 【リーダーシップ】
教職に必要な素養に関する事項	1 人間性	1-1 コミュニケーション	○ 円滑なコミュニケーションにより、良好な人間関係を構築する必要性を認識している。	○ 他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的コミュニケーションをとっている。	○ 他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションをとっている。	○ 他の教職員の役割に寄りわり、適切な動きを行っている。
		1-2 タイムマネジメント	○ 授業準備や授業時間、準備時間等を適切に管理している。	○ 限られた時間の中で、優先順位を決め、計画的に業務を行っている。	○ 他の教職員と協力し、多面的・多角的な学校の指導・経営の発展に向け、具体的な業務を行っている。	○ 人材育成の重要性を踏まえ、教職員の職務に応じた体系的な人材育成の推進づくりに協力している。
教職に必要な素養に関する事項	2 知識・技能	2-1 教職に関する知識・技能	○ 教育課程の重要性を認識し、授業の質を向上させるための工夫を行っている。	○ 学校教育の発展に向け、教育課程に基づいた授業の実践に取り組んでいる。	○ 学校教育の特色を生かした教育課程の編成に協力し、積極的に貢献している。	○ 持続可能な学校の指導・運営の発展に積極的に参加している。
		2-2 教育課程の理解	○ 学校運営に際して、個別的な対応の必要性を認識している。	○ 学校運営に際して、自分の役割を認識し、学校教育の発展に貢献している。	○ 学校の状況や課題への対応について積極的に意見を述べ、教育課程の発展に貢献している。	○ 高い能力や専門性を発揮し、様々な役割を担って学校運営に積極的に参加している。
教職に必要な素養に関する事項	3 態度・行動	3-1 学習指導	○ 学習指導の重要性を認識し、児童生徒の学習状況を把握し、児童生徒の学力の向上を図る指導を行っている。	○ 教科等に関する専門的な知識・技能を駆使し、おろそかにならない「指導と評価の計画」の重要性を認識している。	○ 学校の重点課題等を踏まえ、創意工夫を凝らした「指導と評価の計画」を作成している。	○ 「指導と評価の計画」の作成に際して、他の教員に適切な指導を行っている。
		3-2 指導方法	○ 基本的な指導方法や指導の特性に応じた指導等を行っている。	○ 指導に際して指導の効果を高め、児童生徒の反応を見ながら適切な指導を行っている。	○ 指導方法や指導内容を工夫し、児童生徒の反応を生かしながら、「主体的・対話的で深い学び」を促す指導を行っている。	○ 指導方法や指導内容について、他の教員に対して適切な指導を行っている。
教職に必要な素養に関する事項	4 協働	4-1 協働的な学習活動の展開	○ 授業の進め方や学習の進め方について、他の教員と協働して授業を行っている。	○ 授業の進め方や学習の進め方について、他の教員と協働して授業を行っている。	○ 授業の進め方や学習の進め方について、他の教員と協働して授業を行っている。	○ 授業の進め方や学習の進め方について、他の教員と協働して授業を行っている。
		4-2 道徳教育	○ 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の推進に協力している。	○ 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の推進に協力している。	○ 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の推進に協力している。	○ 道徳教育の重要性を認識し、道徳教育の推進に協力している。
教職に必要な素養に関する事項	5 児童生徒理解	5-1 児童生徒理解	○ 児童生徒一人ひとりの個性や能力を把握し、適切な指導を行っている。	○ 児童生徒一人ひとりの個性や能力を把握し、適切な指導を行っている。	○ 児童生徒一人ひとりの個性や能力を把握し、適切な指導を行っている。	○ 児童生徒一人ひとりの個性や能力を把握し、適切な指導を行っている。
		5-2 教育相談	○ 教育相談に関する基本的な知識を身に付けている。	○ 教育相談に関する基本的な知識を身に付けている。	○ 教育相談に関する基本的な知識を身に付けている。	○ 教育相談に関する基本的な知識を身に付けている。

- 第1回** 令和5年 6月17日(土) 13:00~17:30 **山口大学**
「山口県教育の現状と課題 ~山口県教育振興基本計画と教育諸施策~」
山口県教育庁教育政策課教育企画班 班長 今田隆之
「困難や危機を乗り越えた学校がやったこと ~春日中学校のその時~」
追手門学院大学 教務課教職支援室 専任指導者
前 奈良県奈良市立春日中学校 校長 坂本静泰
セントコア山口
- 第2回** 令和5年 8月26日(土) 10:00~15:30 **セントコア山口**
「この国の強みを次世代につなぐ ~起業家精神をもって生きること~」
世界経済フォーラム(ダボス会議) ヤング・グローバル・シェイパーズ
株式会社和える(aeru) 代表取締役 矢島理佳
「私の学校、私の地域の未来予想図3(Café)」
山口大学「ちゃぶ台」スタッフ(教職員チーム)
- 第3回** 令和5年 10月14日(土) 10:00~12:00 **セントコア山口**
「フィンランドから眺めた令和の日本型学校教育」
信州大学大学院教育学研究科 教授 伏木久始



2023年度の研修計画 (予定:演題は全て仮題)

- 第4回** 令和5年 10月14日 (土) 13:00~17:30 セントコア山口
「私の教員人生から語る ~教職の魅力、喜びややりがい~」
ちゃぶ台次世代コーホート Advanced course 会員、スタッフ
- 第5回** 令和5年 11月 3日 (祝) 9:30~12:00 周南市徳山動物園
「フィールドワーク ~動物たちの生態と人との距離~」
周南市徳山動物園 園長補佐(獣医師) 木原一郎
- 第6回** 令和5年 11月 3日 (祝) 13:30~17:00
周南市徳山駅前図書館(JR徳山駅ビル)
「アスリートとして生きること ~不可能とは可能性のこと~」
平昌パラリンピック(CC、ミドルクラシカル)金メダリスト
2022-2023年シーズン「ワールドカップ(年間総合)」3位
日立ソリューションズ「チームAURORA」スキー部 新田佳浩
- 第7回** 令和5年 12月23日 (土) 10:00~12:30 セントコア山口
「学校の想い、親の想い、そして子どもたちの想い(保護者との座談会)」
山口県PTA連合会、山口県公立高等学校PTA連合会 役員

第8回 令和5年 12月23日 (土) 13:30~17:00 セントコア山口

「考える、動く、自由になる ~これからの学びや社会の姿~」

教育再生実行会議 委員、前 千代田区立麴町中学校 校長

横浜創英中学・高等学校 校長 工藤勇一

「私自身の未来予想図4 (Café)」

山口大学「ちゃぶ台」スタッフ (教職員チーム)

第9回 令和6年 2月10日 (土) 13:30~17:30 山口大学

「会員による実践・研究成果発表・交流会」

特設 令和6年 3月16日 (土) 9:30~12:00 山口大学

「1年間の研修を振り返って (リフレクション研修会)」

第10回 令和6年 3月16日 (土) 13:00~17:30 山口大学

「インクルーシブ教育、特別支援教育の動向」

新潟大学教育研究院人文社会科学系教育学系列 教授 長澤正樹

